

「公共」年間指導計画にもとづく評価規準例

単元 番号	単元名	実施 月	単元 の時 数	評 価 規 準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法) 定期テスト 小テスト レポート ワークシート	(評価の方法) 定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習のふり返り	(評価の方法) ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習のふり返り	
第1部 第1章	青年期を生きる私たち	4月	2	・青年期の特徴やアイデンティティの確立、現代社会を生きるうえでの課題とキャリア開発、シティズンシップの意義などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・青年期の特徴やアイデンティティの確立、現代社会を生きるうえでの課題とキャリア開発、シティズンシップの意義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・青年期の特徴やアイデンティティの確立、現代社会を生きるうえでの課題とキャリア開発、シティズンシップの意義などについて、主体的に追究している。	○青年期の特徴やアイデンティティの確立、現代社会を生きるうえでの課題とキャリア開発、シティズンシップの意義などについて理解する。 ○キャリア開発と社会参画の視点からシティズンシップの意義について考察する。
	1 青年期における自己形成			・青年期の特徴やアイデンティティの確立などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・青年期の特徴やアイデンティティの確立などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・青年期の特徴やアイデンティティの確立などについて、主体的に追究している。	○青年期の特徴やアイデンティティの確立などについて理解する。 ○青年期に生きる自己形成の課題について考察する。
	2 キャリア開発と社会参画			・現代社会を生きるうえでの課題や、キャリア開発の意義、シティズンシップの意義などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・現代社会を生きるうえでの課題や、キャリア開発の意義、シティズンシップの意義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代社会を生きるうえでの課題や、キャリア開発の意義、シティズンシップの意義などについて、主体的に追究している。	○現代社会を生きるうえでの課題や、キャリア開発の意義などについて理解する。 ○キャリア開発や社会参画の視点から、シティズンシップの意義について考察する。
第1部 第2章	他者とともに生きる人間としてのあり方	4月～5月	3	・人間存在について、個人としての尊厳、公共的な空間をになう存在、伝統・文化の影響の三つの側面から、カント、J.S. ミル、アーレント、ハーバーマス、和辻哲郎、丸山真男、柳田国男などの考え方を手がかりに理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・人間存在について、個人としての尊厳、公共的な空間をになう存在、伝統・文化の影響の三つの側面から、カント、J.S. ミル、アーレント、ハーバーマス、和辻哲郎、丸山真男、柳田国男などの考え方を手がかりに、多面的・多角的に考察し、表現している。	・人間存在を、個人としての尊厳、公共的な空間をになう存在、伝統・文化の影響の三つの側面から、カント、J.S. ミル、アーレント、ハーバーマス、和辻哲郎、丸山真男、柳田国男などの考え方を手がかりに、主体的に追究している。	○人間存在について、個人としての尊厳、公共的な空間をになう存在、伝統・文化の影響の三つの側面から、カント、J.S. ミル、アーレント、ハーバーマス、和辻哲郎、丸山真男、柳田国男などの考え方を手がかりに理解する。
	3 個人として尊重しあう人間			・幸福と個人の尊重の課題について、カントの「自律的な人格」やJ.S. ミルの「他者危害原理」などの考え方をふまえて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・人間が個人として尊重されることの意味について、カントやJ.S. ミルの考え方を手がかりに、多面的・多角的に考察し、表現している。	・人間が個人として尊重されることの意味について、幸福や人格などに関する先人の思想を手がかりに、主体的に追究している。	○自己の幸福の追求と他者とのかわりについて考え、幸福追求が個人の尊重に帰着することを理解する。 ○カントの「自律的な人格」やJ.S. ミルの「他者危害原理」について理解し、人間を個人として尊重することの意味について多面的・多角的に考察する。
	4 公共的な空間をつくる人間			・公共的な空間をになう存在としての人間のあり方について、アーレントの「活動」、ハーバーマスの「コミュニケーション的理性」、和辻哲郎の「間柄」などの考え方をふまえて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・公共的な空間をになう存在としての人間のあり方について、アーレントの「活動」、ハーバーマスの「コミュニケーション的理性」、和辻哲郎の「間柄」などの考え方を手がかりに、多面的・多角的に考察し、表現している。	・公共的な空間をになう存在としての人間のあり方について、アーレントの「活動」、ハーバーマスの「コミュニケーション的理性」、和辻哲郎の「間柄」などの考え方を手がかりに、主体的に追究している。	○公共的な空間について理解するとともに、アーレントの「活動」やハーバーマスの「コミュニケーション的理性」の意義について理解する。 ○和辻哲郎の「間柄」について理解し、公共的な空間における意義について考察する。
	5 伝統・文化のなかで生きる人間			・伝統・文化がものの見方に影響していることを、丸山真男や柳田国男の考え方などをふまえて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・伝統・文化とかわかって生きる人間のあり方について、丸山真男や柳田国男の考え方などを手がかりに、多面的・多角的に考察し、表現している。	・伝統・文化とかわかって生きる人間のあり方について、丸山真男や柳田国男の考え方などを手がかりに、主体的に追究している。	○丸山真男の考え方などを手がかりに、伝統・文化がものの見方に影響をあたえていることに気づく。 ○柳田国男の考え方などを手がかりに、日本の「公」と「私」についての伝統的なとらえ方について考察する。
	第1部 第3章	5月	4	・現代の諸課題について選択・判断する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方について理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・現代の諸課題について選択・判断する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方を活用して、生命倫理や環境倫理などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代の諸課題について選択・判断する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方を活用して、生命倫理や環境倫理などについて、主体的に追究している。	○現代の諸課題について選択・判断する際の手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方について理解する。 ○生命倫理や環境倫理にかかわる課題などについて、功利主義や義務論などの視点から考察する。
	6 功利主義と幸福の原理			・行為の理由と正当化にかかわる目的論と義務論について理解するとともに、目的論にかかわって功利主義と徳倫理学について理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・ベンサム、J.S. ミルの功利主義の考え方およびアリストテレスの徳倫理学による幸福のとらえ方について、「トロッコ問題」の例などを用いて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・ベンサム、J.S. ミルの功利主義の考え方およびアリストテレスの徳倫理学による幸福のとらえ方について、主体的に追究している。	○行為選択の理由づけについて目的論と義務論の考え方があること、また、目的論にかかわって功利主義と徳倫理学の考え方を理解する。 ○先人の思想を手がかりに、思考実験を用いて、課題解決の方法について考察する。
	7 義務論と公正の原理			・義務論の代表的な考え方としてカントの「道徳法則」や「自律」について、また、ロールズの「公正としての正義」やセンの「潜在能力」の考え方について理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・義務論の考え方や、不公正の是正に関するロールズやセンの考え方について、『『義賊』の行いは支持できるか?』の例などを用いて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・義務論の考え方や、不公正の是正に関するロールズやセンの考え方について、主体的に追究している。	○義務論について、カントの「道徳法則」や「自律」の意味を中心に理解する。 ○不公正の是正について、ロールズの「公正としての正義」の考え方やセンの「潜在能力」の考え方を理解する。
	活用してみよう 生命倫理について考える			・生命科学の進歩にともない進展したエンハンスメント技術とその倫理的課題について理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・エンハンスメントにかかわる倫理的課題について、功利主義と義務論の考え方を手がかりに多面的・多角的に考察し、表現している。	・エンハンスメントにかかわる倫理的課題について、功利主義と義務論の考え方を手がかりに、主体的に追究している。	○生命科学の進歩にともない進展したエンハンスメント技術とその倫理的課題について理解する。 ○エンハンスメントにかかわる倫理的課題について、功利主義と義務論の考え方を手がかりに考察する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評 価 規 準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法) 定期テスト 小テスト レポート ワークシート	(評価の方法) 定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習のふり返し	(評価の方法) ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習のふり返し	
	活用してみよう 環境倫理について考える			・環境保護と開発にかかわる倫理的課題と、環境倫理、「共有地の悲劇」の考え方について理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・環境保護と開発にかかわる倫理的課題について、功利主義と義務論の考え方を手がかりに多面的・多角的に考察し、表現している。	・環境保護と開発にかかわる倫理的課題について、功利主義と義務論の考え方を手がかりに、主体的に追究している。	○人間の活動の急速な拡大がもたらしている環境問題について、環境保護と開発のジレンマの観点から理解する。 ○環境保護と開発にかかわる倫理的課題について、功利主義と義務論の考え方を手がかりに考察する。
第1部 第4章	公共的な空間における基本的原理	5月～6月	5	・公共的な空間における基本的原理である民主主義、立憲主義、人権保障、およびそれらを反映した日本国憲法の理念などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・公共的な空間における基本的原理である民主主義、立憲主義、人権保障、およびそれらを反映した日本国憲法の理念と、それらを実現するうえでの課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。	・公共的な空間における基本的原理である民主主義、立憲主義、人権保障、およびそれらを反映した日本国憲法の理念と、それらを実現するうえでの課題について、主体的に追究している。	○公共的な空間における基本的原理である民主主義、立憲主義、人権保障、およびそれらを反映した日本国憲法の理念などについて理解する。 ○民主主義、立憲主義、人権保障がなぜ公共的空間の基本原則とされるのか、また、それらを実現するうえでの課題について考察する。
	8 公共的な空間における協働			・社会における利害調整のしくみとして、市場によるものと国家によるものがあること、また、それぞれの特徴などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・市場の働きや国家による利害調整の方法や、そこにおける課題について、「囚人のジレンマ」の例などを用いて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・市場の働きや国家による利害調整の方法や、そこにおける課題について、主体的に追究している。	○社会において利害調整が必要であることや、協働の利益をそこなう「囚人のジレンマ」を回避することが必要であることを理解する。 ○利害調整の方法としての市場の働きと国家の役割について理解するとともに、それぞれの課題について考察する。
	9 民主主義の原理			・政治の方法である民主主義の意義と課題、直接民主制と間接民主制の特色などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・政治の方法である民主主義の意義と課題、直接民主制と間接民主制の特色などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・政治の方法である民主主義の意義と課題、直接民主制と間接民主制の特色などについて、主体的に追究している。	○政治の方法である民主主義について、民主権の観点から理解する。 ○民主主義における多数決の意義と課題、熟議の意義を理解するとともに、間接民主制と直接民主制を組みあわせる意義について考察する。
	10 立憲主義の原理			・法の支配や立憲主義、権力分立の意義、民主主義における憲法の役割などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・法の支配や立憲主義、権力分立の意義、民主主義における憲法の役割などについて、基本的人権の尊重と権力の濫用を排除する視点から、多面的・多角的に考察し、表現している。	・法の支配や立憲主義、権力分立の意義、民主主義における憲法の役割などについて、主体的に追究している。	○法の支配や立憲主義の成立と意義などについて、イギリスやフランスの市民革命と関連づけて理解する。 ○民主主義における憲法の役割について、違憲審査や憲法改正手続きに着目して考察する。
	11 人権保障の原理			・人間の尊厳と平等を求める基本的人権の考え方と人権保障の広がり、人権保障の課題などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・人間の尊厳と平等を求める基本的人権の考え方と人権保障の広がり、人権保障の課題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・人間の尊厳と平等を求める基本的人権の考え方と人権保障の広がり、人権保障の課題などについて、主体的に追究している。	○基本的人権の意味や、自由権から社会権、「新しい人権」にいたる人権保障の歴史的発展を理解する。 ○人権保障の広がりにともない、人種差別・女性差別・障がい者差別の撤廃や、子どもの権利の確立などの取り組みが進められてきたことを理解する。
	12 日本国憲法の理念			・日本国憲法の三つの基本原理、立憲主義と権力分立の意義、最高法規としての憲法の性格などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・日本国憲法の三つの基本原理、立憲主義と権力分立の意義、最高法規としての憲法の性格などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・日本国憲法の三つの基本原理、立憲主義と権力分立の意義、最高法規としての憲法の性格などについて、主体的に追究している。	○日本国憲法の三つの基本原理について、それぞれの具体的内容を理解する。 ○日本国憲法における立憲主義と権力分立の意義や、最高法規としての憲法のあり方などについて理解する。
第2部 第1章	民主政治と私たち	6月～7月	8	・政治と民主主義、地方自治および国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論などについて、民主政治の実現の観点から理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・政治と民主主義、地方自治および国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論などについて、民主政治の実現の観点から、多面的・多角的に考察し、表現している。	・政治と民主主義、地方自治および国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論などについて、民主政治の実現の観点から、主体的に追究している。	○政治と民主主義、地方自治および国会と内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○地方政治、国政に関する課題について、民主政治や民意の反映などの視点から解決に向けて考察する。
	テーマ1 民主政治と政治参加		(8)	・政治と民主主義、地方自治および国会と内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論などについて、民主政治の実現の観点から理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・政治と民主主義、地方自治および国会と内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論などについて、民主政治の実現の観点から、多面的・多角的に考察し、表現している。	・政治と民主主義、地方自治および国会と内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論などについて、民主政治の実現の観点から、主体的に追究している。	○政治と民主主義、地方自治および国会と内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○地方政治、国政に関する課題について、民主政治や民意の反映などの視点から考察する。
	追究しよう 日本に国民投票制度を導入すべきか？			・民意と政治のギャップについて、世論調査などをもとに理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・国民投票のメリットとデメリットについて、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、表現している。	・民意と政治のギャップや、国民投票のメリットとデメリットについて、二つの着眼点を手がかりに、主体的に追究している。	○民意と政治のギャップについて、世論調査などをもとに理解する。 ○国民投票のメリットとデメリットについて、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、議論する。
	13 私たちの民主政治			・政治の意義や働き、民主主義にかかわる制度や活動、現代の民主主義の課題などについて、歴史的な視点もふまえて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・政治の意義や働き、民主主義にかかわる制度や活動、現代の民主主義の課題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・政治の意義や働き、民主主義にかかわる制度や活動、現代の民主主義の課題などについて、主体的に追究している。	○身近に存在する政治に気づくとともに、民主主義にかかわる制度や活動について、実際の事象と関連づけて理解する。 ○現代の民主主義の課題について、20世紀の歴史をふまえて考察する。
	14 地方自治のしくみと役割			・地方自治の本旨としくみ、地方財政のしくみと課題、住民参加の意義などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・地方自治の本旨としくみ、地方財政のしくみと課題、住民参加の意義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・地方自治の本旨としくみ、地方財政のしくみと課題、住民参加の意義などについて、主体的に追究している。	○地方自治の本旨としくみなどについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○地方財政のしくみと課題、住民参加の意義について考察する。
	15 国会のしくみと役割			・三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営などについて、制度と実際の政治運営との関係の観点から、多面的・多角的に考察し、表現している。	・三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営などについて、制度と実際の政治運営との関係の観点から、主体的に追究している。	○三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○国会における実際の政治の現状と課題について考察する。

単元 番号	単元名	実施月	単元 の時数	評 価 規 準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法) 定期テスト 小テスト レポート ワークシート	(評価の方法) 定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習のふり返し	(評価の方法) ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習のふり返し	
	16 内閣のしくみと役割			・内閣と国会との関係、内閣の役割と行政組織、行政国家化と行政改革などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・内閣と国会との関係、内閣の役割と行政組織、行政国家化と行政改革などについて、制度と実際の政治運営の関係の観点から、多面的・多角的に考察し、表現している。	・内閣と国会との関係、内閣の役割と行政組織、行政国家化と行政改革などについて、制度と実際の政治運営の関係の観点から、主体的に追究している。	○内閣と国会との関係、内閣の役割と行政組織、行政国家化と行政改革などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○国会を基盤に行政権を行使する内閣と行政組織、行政権が肥大化した今日の行政の課題について考察する。
	17 政治参加と選挙			・政治参加の方法、民主政治と選挙制度、日本の選挙制度とその課題などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・政治参加の方法、民主政治と選挙制度、日本の選挙制度とその課題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・政治参加の方法、民主政治と選挙制度、日本の選挙制度とその課題などについて、主体的に追究している。	○政治参加の方法、民主政治と選挙制度、日本の選挙制度と課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○有権者の意思をよりよく反映するという観点から、日本の選挙制度について考察する。
	18 政党と利益集団			・民主政治における政党、利益集団、NPO の役割や、政治資金にかかわる課題などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・民主政治における政党、利益集団、NPO の役割や、政治資金にかかわる課題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・民主政治における政党、利益集団、NPO の役割や、政治資金にかかわる課題などについて、主体的に追究している。	○民主政治における政党、利益集団、NPO の役割などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○政治資金にかかわる課題について、具体例をもとに考察する。
	19 メディアと世論			・民主主義における世論の意義、メディアの世論への影響、インターネット時代の世論形成の現状と課題などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・民主主義における世論の意義、メディアの世論への影響、インターネット時代の世論形成の現状と課題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・民主主義における世論の意義、メディアの世論への影響、インターネット時代の世論形成の現状と課題などについて、主体的に追究している。	○民主主義における世論の意義、メディアの世論への影響、インターネット時代の世論形成の現状と課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○世論形成におよぼすメディアの役割や、正しい情報にもとづく合理的な判断の重要性について考察する。
第2部 第2章	法の働きと私たち	7月～9月	10	・法や規範の意義と役割、市民生活における私法の役割、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・法や規範の意義と役割、市民生活における私法の役割、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・法や規範の意義と役割、市民生活における私法の役割、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、主体的に追究している。	○法や規範の意義と役割、市民生活における私法の役割、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○法の意義と役割、消費者の権利と義務、司法参加などにかかわる課題などについて考察する。
	テーマ2 法や規範の意義と役割		(3)	・法の機能と分類、法を制定する際にふまえるべき条件、法の適用と裁判のしくみなどについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・法の機能と分類、法を制定する際にふまえるべき条件、法の適用と裁判のしくみなどについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・法の機能と分類、法を制定する際にふまえるべき条件、法の適用と裁判のしくみなどについて、主体的に追究している。	○法の機能と分類、法を制定する際にふまえるべき条件、法の適用と裁判のしくみなどについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○社会生活における法の役割、法にもとづく裁判の意義などについて考察する。
	追究しよう「歩きスマホ」を法律で規制して罰則を設けるべきか？			・「歩きスマホ」に関する法規制の事例や海外の事例について理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・「歩きスマホ」に罰則を設けることの是非について、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、表現している。	・法や規範の意義や役割、「歩きスマホ」に罰則を設けることの是非について、二つの着眼点を手がかりに、主体的に追究している。	○「歩きスマホ」に関する法規制の事例や海外の事例について、資料を手がかりに確認し、理解する。 ○「歩きスマホ」に罰則を設けることの是非について、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、議論する。
	20 法と社会規範の役割			・社会規範としての道徳と法の違い、法の機能や分類などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・社会規範としての道徳と法の違い、法の機能や分類などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・社会規範としての道徳と法の違い、法の機能や分類などについて、主体的に追究している。	○社会規範としての道徳と法の違いなどについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○法の機能や分類について、具体的な法をもとに理解する。
	21 法の成立と適用			・法を制定する際にふまえるべき条件、法の適用と解釈、民事裁判と刑事裁判の手続きなどについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・法を制定する際にふまえるべき条件、法の適用と解釈、民事裁判と刑事裁判の手続きなどについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・法を制定する際にふまえるべき条件、法の適用と解釈、民事裁判と刑事裁判の手続きなどについて、主体的に追究している。	○法を制定する際にふまえるべき条件、法の適用と解釈などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○民事裁判と刑事裁判の手続きの特色について、両者を比較して考察する。
	テーマ3 市民生活と私法		(4)	・私法の原則、契約自由の原則とその修正、消費者契約の特性と消費者法制、消費者市民社会の形成などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・私法の原則、契約自由の原則とその修正、消費者契約の特性と消費者法制、消費者市民社会の形成などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・私法の原則、契約自由の原則とその修正、消費者契約の特性と消費者法制、消費者市民社会の形成などについて、主体的に追究している。	○私法の原則、契約自由の原則とその修正、消費者契約の特性と消費者法制、消費者市民社会の形成などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○市民生活における私法の役割について、身近な事例をもとに考察する。
	追究しよう 転売仲介サイトで購入した不正転売チケットは、契約を取り消せるか？			・インターネットでのチケット転売に関するトラブルについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・転売仲介サイトで不正転売チケットを購入した場合の対処について、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、表現している。	・インターネットでのチケット転売に関するトラブル、転売仲介サイトで不正転売チケットを購入した場合の対処について、二つの着眼点を手がかりに、主体的に追究している。	○インターネットでのチケット転売に関するトラブルについて、資料を手がかりに確認し、理解する。 ○転売仲介サイトで不正転売チケットを購入した場合の対処について、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、議論する。
	22 私法の原則			・私法の三つの原則、契約における意思能力および行為能力、未成年者の契約に関する原則、故意と過失による不法行為への責任などについて理解する。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・私法の三つの原則、契約における意思能力および行為能力、未成年者の契約に関する原則、故意と過失による不法行為への責任などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・私法の三つの原則、契約における意思能力および行為能力、未成年者の契約に関する原則、故意と過失による不法行為への責任などについて、主体的に追究している。	○私法の三つの原則、契約における意思能力および行為能力、未成年者の契約に関する原則、故意や過失による不法行為への責任などについて、実際の事象と関連させて理解する。 ○私法の三つの原則が公共の福祉や公序良俗の点から制限されることについて考察する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評 価 規 準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法) 定期テスト 小テスト レポート ワークシート	(評価の方法) 定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習のふり返り	(評価の方法) ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習のふり返り	
	23 多様な契約			・契約自由の原則、契約の種類、契約自由の原則の修正などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・契約自由の原則、契約の種類、契約自由の原則の修正などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・契約自由の原則、契約の種類、契約自由の原則の修正などについて、主体的に追究している。	○契約自由の原則、契約の種類、契約自由の原則の修正などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○契約の種類とその特色、契約自由の原則の修正が必要な理由について考察する。
	24 消費者の権利と責任			・消費者契約の特色、消費者法制と消費者の権利、消費者主権と消費者市民社会の形成などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・消費者契約の特色、消費者法制と消費者の権利、消費者主権と消費者市民社会の形成などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・消費者契約の特色、消費者法制と消費者の権利、消費者主権と消費者市民社会の形成などについて、主体的に追究している。	○消費者契約の特色、消費者法制と消費者の権利、消費者主権と消費者市民社会の形成などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○消費者法制が消費者の権利の尊重および自立支援をめざしていることについて、具体例をもとに考察する。
	テーマ4 国民の司法参加		(3)	・司法権の独立、裁判制度のしくみ、違憲審査権、刑事司法のしくみや課題、裁判員制度や検察審査会制度などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・司法権の独立、裁判制度のしくみ、違憲審査権、刑事司法のしくみや課題、裁判員制度や検察審査会制度などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・司法権の独立、裁判制度のしくみ、違憲審査権、刑事司法のしくみや課題、裁判員制度や検察審査会制度などについて、主体的に追究している。	○司法権とその独立、裁判制度のしくみ、違憲審査権、刑事司法のしくみや課題、裁判員制度や検察審査会制度などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○司法制度の理解をふまえて、国民が司法に参加することの意義について考察する。
	追究しよう 日本は死刑制度を廃止すべきか？			・死刑制度についての国民の意識、存廃の論拠、世界における死刑制度について理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・死刑制度の是非について、将来裁判員になることをふまえて、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、表現している。	・死刑制度の是非について、将来裁判員になることをふまえて、二つの着眼点を手がかりに、主体的に追究している。	○死刑制度についての国民の意識、存廃の論拠、世界における死刑制度について、資料を手がかりに確認し、理解する。 ○死刑制度の是非について、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、議論する。
	25 司法のしくみと役割			・司法権の独立の意義、三審制などの裁判制度のしくみ、違憲審査権などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・司法権の独立の意義、三審制などの裁判制度のしくみ、違憲審査権などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・司法権の独立の意義、三審制などの裁判制度のしくみ、違憲審査権などについて、主体的に追究している。	○司法権の独立の意義、三審制などの裁判制度のしくみ、違憲審査権などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○司法権の独立や三審制の意義、違憲審査権と人権保障とのかわりについて考察する。
	26 刑事司法と司法参加の意義			・刑事司法のしくみや原則、刑事司法の課題、裁判員制度や検察審査会制度などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・刑事司法のしくみや原則、刑事司法の課題、裁判員制度や検察審査会制度などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・刑事司法のしくみや原則、刑事司法の課題、裁判員制度や検察審査会制度などについて、主体的に追究している。	○刑事司法のしくみや原則、刑事司法の課題、裁判員制度や検察審査会制度などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○刑事司法の課題や、司法への民意の反映の意義と課題について考察する。
	第2部 第3章 経済社会で生きる私たち	9月～11月	13	・経済活動の意義、経済循環、現代の企業、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・経済活動の意義、経済循環、現代の企業、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。	・経済活動の意義、経済循環、現代の企業、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、主体的に追究している。	○経済活動の意義、経済循環、現代の企業、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、実際の事象と関連づけて理解する。 ○経済のしくみや動向についての基礎的理解のうえに、家計や企業の経済活動、財政や金融に関する政策課題、社会保障にかかわる課題について考察する。
	テーマ5 現代の経済と市場		(5)	・経済活動の意義、経済主体と経済循環、現代の企業、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、景気変動と物価などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・経済活動の意義、経済主体と経済循環、現代の企業、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、景気変動と物価などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・経済活動の意義、経済主体と経済循環、現代の企業、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、景気変動と物価などについて、主体的に追究している。	○経済活動の意義、経済主体と経済循環、現代の企業、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、景気変動と物価などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○資源の配分に果たす市場の働きと政府の役割との関係、経済の大きさをとらえる国民所得の意味について考察する。
	追究しよう 最低賃金の引き上げは経済にどのような影響をあたえるか？			・最低賃金額の都道府県ごとの状況や引き上げの状況、国際比較を参考に、最低賃金制度について理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・最低賃金制度の現状と最低賃金額引き上げの影響について、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、表現している。	・最低賃金制度の現状と最低賃金額引き上げの影響について、二つの着眼点を手がかりに、主体的に追究している。	○最低賃金額の都道府県ごとの状況や引き上げの状況、国際比較を参考に、最低賃金制度について理解する。 ○最低賃金額引き上げの影響について、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、議論する。
	27 私たちと経済			・経済活動の意義、経済主体と経済循環、経済活動のグローバル化などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・経済活動の意義、経済主体と経済循環、経済活動のグローバル化などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・経済活動の意義、経済主体と経済循環、経済活動のグローバル化などについて、主体的に追究している。	○経済活動の意義、経済主体と経済循環、経済活動のグローバル化などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○家計・企業・政府の相互関係について、具体例をもとに考察する。
	28 現代の企業			・企業の種類や活動、株式会社のしくみ、企業の社会的責任などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・企業の種類や活動、株式会社のしくみ、企業の社会的責任などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・企業の種類や活動、株式会社のしくみ、企業の社会的責任などについて、主体的に追究している。	○企業の種類や活動、株式会社のしくみ、企業の社会的責任などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○株式会社が発達した理由や、企業の社会的責任が求められる背景について考察する。
	29 市場経済のしくみ			・市場経済における価格の働き、市場の失敗と政府の役割などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・市場経済における価格の働き、市場の失敗と政府の役割などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・市場経済における価格の働き、市場の失敗と政府の役割などについて、主体的に追究している。	○市場経済における価格の働き、市場の失敗と政府の役割などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○市場メカニズムの意義や限界と、政府の役割が求められることとの関係について考察する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評 価 規 準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法) 定期テスト 小テスト レポート ワークシート	(評価の方法) 定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習のふり返り	(評価の方法) ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習のふり返り	
	30 国民所得と経済成長			・経済活動の大きさを示すさまざまな指標、経済成長とその要因、景気変動と物価などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・経済活動の大きさを示すさまざまな指標、経済成長とその要因、景気変動と物価などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・経済活動の大きさを示すさまざまな指標、経済成長とその要因、景気変動と物価などについて、主体的に追究している。	○経済活動の大きさを示すさまざまな指標、経済成長とその要因、景気変動と物価などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○景気変動や物価の変動が人々の生活におよぼす影響について考察する。
	テーマ6 市場経済における金融の働き		(3)	・貨幣の役割と通貨制度、直接金融と間接金融、金融市場と金利、中央銀行の役割と金融政策などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・貨幣の役割と通貨制度、直接金融と間接金融、金融市場と金利、中央銀行の役割と金融政策などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・貨幣の役割と通貨制度、直接金融と間接金融、金融市場と金利、中央銀行の役割と金融政策などについて、主体的に追究している。	○貨幣の役割と通貨制度、直接金融と間接金融、金融市場と金利、中央銀行の役割と金融政策などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○現代の経済社会において金融が果たす役割やその課題について考察する。
	追究しよう 起業家はどのように資金調達をすればよいのか？			・起業家の資金調達の方法、日本のスタートアップの動向について理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・起業家が効果的な資金調達を行うために必要なことを、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、表現している。	・日本のスタートアップの動向、起業家が効果的な資金調達を行うために必要なことについて、二つの着眼点を手がかりに、主体的に追究している。	○起業家の資金調達の方法、日本のスタートアップの動向について、資料を手がかりに確認し、理解する。 ○起業家が効果的な資金調達を行うために必要なことについて、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、議論する。
	31 金融のしくみと働き			・貨幣の役割と通貨制度、直接金融と間接金融、金融市場と金利などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・貨幣の役割と通貨制度、直接金融と間接金融、金融市場と金利などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・貨幣の役割と通貨制度、直接金融と間接金融、金融市場と金利などについて、主体的に追究している。	○貨幣の役割と通貨制度、直接金融と間接金融、金融市場と金利などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○金融が現在の経済において果たす役割について考察する。
	32 中央銀行の役割と金融環境の変化			・中央銀行の役割と金融政策、金融の自由化と金融商品の多様化などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・中央銀行の役割と金融政策、金融の自由化と金融商品の多様化などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・中央銀行の役割と金融政策、金融の自由化と金融商品の多様化などについて、主体的に追究している。	○中央銀行の役割と金融政策などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○金融政策の近年の動向、金融の自由化および金融商品の多様化の動きとその課題について考察する。
	テーマ7 財政の役割と持続可能な社会保障制度		(5)	・財政の機能としくみ、租税の種類と原則、国債と財政問題、社会保障の意義と制度、少子高齢社会における社会保障の課題などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・財政の機能としくみ、租税の種類と原則、国債と財政問題、社会保障の意義と制度、少子高齢社会における社会保障の課題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・財政の機能としくみ、租税の種類と原則、国債と財政問題、社会保障の意義と制度、少子高齢社会における社会保障の課題などについて、主体的に追究している。	○財政の機能としくみ、租税の種類と原則、国債と財政問題、社会保障の意義と制度、少子高齢社会における社会保障の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○財政や社会保障にかかわる諸課題について、実際の生活と関連づけて考察する。
	追究しよう 持続可能な財政を実現するためには？			・日本の財政の状況について理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・日本の財政の状況や、財政の課題を解決し持続可能な財政を実現するための取り組みについて、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、表現している。	・日本の財政の状況や、財政の課題を解決し持続可能な財政を実現するための取り組みについて、二つの着眼点を手がかりに、主体的に追究している。	○日本の財政の状況について、資料を手がかりに確認し、理解する。 ○財政の課題を解決し持続可能な財政を実現するための取り組みについて、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、議論する。
	33 財政の働き			・財政の機能と財政政策、財政のしくみと租税法律主義などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・財政の機能と財政政策、財政のしくみと租税法律主義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・財政の機能と財政政策、財政のしくみと租税法律主義などについて、主体的に追究している。	○財政の機能と財政政策、財政のしくみと租税法律主義などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○財政を通じて経済政策や福祉政策などが行われていることを理解する。
	34 財政の課題			・租税の種類と課税の原則、国債の役割、財政問題などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・租税の種類と課税の原則、国債の役割、財政問題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・租税の種類と課税の原則、国債の役割、財政問題などについて、主体的に追究している。	○租税の種類と課税の原則、国債の役割、財政問題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○財政問題の解決の方向性について、資料を手がかりに考察する。
	35 社会保障の考え方			・社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度などについて、主体的に追究している。	○社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○社会保障制度の意義について、多面的・多角的に考察する。
	36 社会保障の課題とこれから			・少子高齢化の進展、社会保障制度の現状と課題、福祉社会の実現に向けた課題などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・少子高齢化の進展、社会保障制度の現状と課題、福祉社会の実現などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・少子高齢化の進展、社会保障制度の現状と課題、福祉社会の実現などについて、主体的に追究している。	○少子高齢化の進展、社会保障制度の現状と課題、福祉社会の実現に向けた課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○今後の社会保障制度のあり方について、諸外国の事例を参考に考察します。
第2部 第4章	私たちの職業生活	11月 ～ 12月	6	・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択とこれからのキャリア形成、資本主義経済における労働、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化、現代の労働問題などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択とこれからのキャリア形成、資本主義経済における労働、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化、現代の労働問題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択とこれからのキャリア形成、資本主義経済における労働、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化、現代の労働問題などについて、主体的に追究している。	○働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択とこれからのキャリア形成、資本主義経済における労働、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化、現代の労働問題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○職業選択について自らの課題として考察するとともに、労働と雇用にかかわる諸問題について考察する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評 価 規 準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法) 定期テスト 小テスト レポート ワークシート	(評価の方法) 定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習のふり返り	(評価の方法) ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習のふり返り	
	テーマ 8 働くことの意義と職業選択		(3)	・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択とこれからのキャリア形成などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択とこれからのキャリア形成などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択とこれからのキャリア形成などについて、主体的に追究している。	○働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割、職業選択とこれからのキャリア形成などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○働くことについて、産業社会の変化、労働市場、キャリア選択の多様化などの観点から考察する。
	追究しよう AI時代の職業生活をどのように考えればよいか？			・AI が労働や雇用に与える影響について理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・AI 時代の業務や仕事の変化とそれへの対応について、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、表現している。	・AI 時代の業務や仕事の変化とそれへの対応について、二つの着眼点を手がかりに、主体的に追究している。	○AI が労働や雇用に与える影響について、資料を手がかりに確認し、理解する。 ○AI 時代の業務や仕事の変化とそれへの対応について、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、議論する。
	37 働くということ			・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割などについて、主体的に追究している。	○働くことの意義、産業社会の発達と職業の変化、労働市場の役割などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○産業社会の変化にともなう職業や労働の変化について、その課題も含めて考察する。
	38 多様な職業選択			・職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、主体的に追究している。	○職業選択のポイント、キャリア選択の多様化、キャリア形成の課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○これからの職業選択とキャリア形成の課題について考察する。
	テーマ 9 労働者の権利と雇用・労働問題		(3)	・資本主義経済における労働、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化、現代の労働問題などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・資本主義経済における労働、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化、現代の労働問題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・資本主義経済における労働、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化、現代の労働問題などについて、主体的に追究している。	○資本主義経済における労働、労働者の権利と労働三法、雇用環境の変化、現代の労働問題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○働きやすい労働環境の実現について考察する。
	追究しよう「働きがいのある人間らしい仕事」を実現するには？			・長時間労働やハラスメント、労働生産性の課題について理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・長時間労働やハラスメント、労働生産性の課題、働きがいのある労働環境を実現する方策について、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、表現している。	・長時間労働やハラスメント、労働生産性の課題、働きがいのある労働環境を実現する方策について、二つの着眼点を手がかりに、主体的に追究している。	○長時間労働やハラスメント、労働生産性の課題について、資料を手がかりに確認し、理解する。 ○働きがいのある労働環境を実現する方策について、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、議論する。
	39 労働者の権利			・資本主義経済における労働、労働者の権利と労働三法などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・資本主義経済における労働、労働者の権利と労働三法などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・資本主義経済における労働、労働者の権利と労働三法などについて、主体的に追究している。	○資本主義経済における労働、労働者の権利と労働三法について、実際の事象と関連づけて理解する。 ○労働者の権利保障の必要性について、労働契約の特性をふまえて考察する。
	40 現代の雇用・労働問題			・雇用環境の変化、現代の労働問題、働きやすい労働環境の実現などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・雇用環境の変化、現代の労働問題、働きやすい労働環境の実現などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・雇用環境の変化、現代の労働問題、働きやすい労働環境の実現などについて、主体的に追究している。	○雇用環境の変化、現代の労働問題、働きやすい労働環境の実現などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○仕事と家庭生活の両立、男女格差の解消、安定した雇用などに関する課題とその解決について考察する。
第 2 部 第 5 章	国際社会のなかで生きる私たち	12 月 ～ 2 月	14	・国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題などについて、主体的に追究している。	○国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○国際政治、国際経済にかかわる諸課題について多面的・多角的に考察する。
	テーマ 10 国際社会のルールとしくみ		(3)	・国際社会の成立と特色、国際法の意義と役割、国際社会の変容、集団安全保障としての国際連合の成立としくみ、国際連合の役割と課題などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・国際社会の成立と特色、国際法の意義と役割、国際社会の変容、集団安全保障としての国際連合の成立としくみ、国際連合の役割と課題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・国際社会の成立と特色、国際法の意義と役割、国際社会の変容、集団安全保障としての国際連合の成立としくみ、国際連合の役割と課題などについて、主体的に追究している。	○国際社会の成立と特色、国際法の意義と役割、国際社会の変容、集団安全保障としての国際連合の成立としくみ、国際連合の役割と課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○外交や国際法の意義や、国際連合が安全保障に果たす役割と課題について考察する。
	追究しよう 漁業資源の国際的な管理のためにどのようなルールをつくるか？			・漁業をめぐる国際社会の課題について、さまざまな資料を手がかりに理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・漁業をめぐる国際社会の課題、漁業資源の国際的な管理のあり方について、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、表現している。	・漁業をめぐる国際社会の課題、漁業資源の国際的な管理のあり方について、二つの着眼点を手がかりに、主体的に追究している。	○漁業をめぐる国際社会の課題について、資料を手がかりに確認し、理解する。 ○漁業資源の国際的な管理のあり方について、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、議論する。
	41 国際社会の成り立ち			・国際社会の成立と特色、国際法の意義、国際社会の変容などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・国際社会の成立と特色、国際法の意義、国際社会の変容などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・国際社会の成立と特色、国際法の意義、国際社会の変容などについて、主体的に追究している。	○国際社会の成立と特色、国際法の意義、国際社会の変容などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○国家間で問題が生じる背景や、外交や国際法の意義について、多面的・多角的に考察する。
	42 国際連合の役割			・集団安全保障としての国際連合の成立としくみ、国際連合の役割と課題などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・集団安全保障としての国際連合の成立としくみ、国際連合の役割と課題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・集団安全保障としての国際連合の成立としくみ、国際連合の役割と課題などについて、主体的に追究している。	○集団安全保障としての国際連合の成立としくみ、国際連合の役割と課題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○国際連合が安全保障に果たす役割と課題について考察する。

単元番号	単元名	実施月	単元の 時数	評 価 規 準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法) 定期テスト 小テスト レポート ワークシート	(評価の方法) 定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習のふり返し	(評価の方法) ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習のふり返し	
	テーマ 11 国際社会と平和主義		(3)	・平和主義と日本国憲法第9条、自衛隊と日米安全保障、戦後日本の防衛政策、冷戦後の世界と日本の安全保障政策、自衛隊と海外派遣などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・平和主義と日本国憲法第9条、自衛隊と日米安全保障、戦後日本の防衛政策、冷戦後の世界と日本の安全保障政策、自衛隊と海外派遣などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・平和主義と日本国憲法第9条、自衛隊と日米安全保障、戦後日本の防衛政策、冷戦後の世界と日本の安全保障政策、自衛隊と海外派遣などについて、主体的に追究している。	○平和主義と日本国憲法第9条、自衛隊と日米安全保障、戦後日本の防衛政策、冷戦後の世界と日本の安全保障政策、自衛隊と海外派遣などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○国際環境の変化をふまえて、日本の役割について考察する。
	追究しよう 日本は核兵器禁止条約に参加すべきか？			・核兵器をめぐる世界の動きについて、核拡散の現状や核兵器禁止条約の採択などを中心に理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・日本の核兵器禁止条約参加の是非について、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、表現している。	・核兵器をめぐる世界の動きや、日本の核兵器禁止条約参加の是非について、二つの着眼点を手がかりに、主体的に追究している。	○核兵器をめぐる世界の動きについて、核拡散の現状や核兵器禁止条約の採択などを中心に理解する。 ○日本の核兵器禁止条約参加の是非について、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、議論する。
	43 日本での平和主義と冷戦			・平和主義と日本国憲法第9条、自衛隊と日米安全保障条約、戦後日本の防衛政策などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・平和主義と日本国憲法第9条、自衛隊と日米安全保障条約、戦後日本の防衛政策などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・平和主義と日本国憲法第9条、自衛隊と日米安全保障条約、戦後日本の防衛政策などについて、主体的に追究している。	○平和主義と日本国憲法第9条、自衛隊と日米安全保障条約、戦後日本の防衛政策などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○日本の防衛政策の変遷について考察する。
	44 冷戦後の世界と日本			・冷戦後の世界と日本の安全保障政策、自衛隊の海外派遣などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・冷戦後の世界と日本の安全保障政策、自衛隊と海外派遣などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・冷戦後の世界と日本の安全保障政策、自衛隊と海外派遣などについて、主体的に追究している。	○冷戦後の世界と日本の安全保障政策、自衛隊の海外派遣などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○日本の安全保障の背景にある国際関係の変化や、今後の安全保障の課題について考察する。
	テーマ 12 国際平和への課題		(3)	・現代の紛争とその要因、紛争の解決に向けた取り組み、難民問題、平和の意味、外交を通じた平和の実現の意義、日本の国際貢献などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・現代の紛争とその要因、紛争の解決に向けた取り組み、難民問題、平和の意味、外交を通じた平和の実現の意義、日本の国際貢献などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代の紛争とその要因、紛争の解決に向けた取り組み、難民問題、平和の意味、外交を通じた平和の実現の意義、日本の国際貢献などについて、主体的に追究している。	○現代の紛争とその要因、紛争の解決に向けた取り組み、難民問題、平和の意味、外交を通じた平和の実現の意義、日本の国際貢献などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○国際社会のなかで日本が果たす役割について考察する。
	追究しよう 人権侵害が起きている国に対して国際社会は介入すべきか？			・国内紛争に他国が介入することの課題について、ルワンダ内戦、コソボ紛争を例に理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・人権保護のための他国や国際機関の武力介入について、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、表現している。	・国内紛争に他国が介入することの課題、人権保護のための他国や国際機関の武力介入について、二つの着眼点を手がかりに、主体的に追究している。	○国内紛争に他国が介入することの課題について、ルワンダ内戦やコソボ紛争を例に理解する。 ○人権保護のための他国や国際機関による武力介入について、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、議論する。
	45 現代の紛争とその影響			・現代の紛争とその要因、紛争の解決に向けた取り組み、難民問題について理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・現代の紛争とその要因、紛争の解決に向けた取り組み、難民問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代の紛争とその要因、紛争の解決に向けた取り組み、難民問題について、主体的に追究している。	○現代の紛争とその要因、紛争解決に向けた取り組み、難民問題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○紛争や難民問題の解決に向けて、国際機関や NGO などの取り組みが求められていることを理解する。
	46 平和な国際社会に向けて			・平和の意味、外交を通じた平和の実現の意義、日本の国際貢献について理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・平和の意味、外交を通じた平和の実現の意義、日本の国際貢献について、多面的・多角的に考察し、表現している。	・平和の意味、外交を通じた平和の実現の意義、日本の国際貢献について、主体的に追究している。	○平和の意味、外交を通じた平和の実現、日本の国際貢献について、実際の事象と関連づけて理解する。 ○平和憲法をもつ日本は国際平和に向けて何をなすべきか、多面的・多角的に考察し、議論する。
	テーマ 13 グローバル化する国際経済		(5)	・貿易と国際収支、外国為替と国際通貨体制、国際経済秩序と地域統合の動向、南北問題と人口・食料問題などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・貿易と国際収支、外国為替と国際通貨体制、国際経済秩序と地域統合の動向、南北問題と人口・食料問題などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・貿易と国際収支、外国為替と国際通貨体制、国際経済秩序と地域統合の動向、南北問題と人口・食料問題などについて、主体的に追究している。	○貿易と国際収支、外国為替と国際通貨体制、国際経済秩序と地域統合の動向、南北問題と人口・食料問題などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○グローバル化する国際経済における課題について、身近な生活とのかかわりも含めて多面的・多角的に考察する。
	追究しよう 世界経済の分断化にどのように向きあうか？			・世界経済の分断化について、ロシアのウクライナ侵攻、アメリカと中国の貿易をめぐる対立、日本の経済安全保障の動きを手がかりに理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・世界経済の分断化の影響やそれへの対応について、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、表現している。	・世界経済の分断化の影響やそれへの対応について、二つの着眼点を手がかりに、主体的に追究している。	○世界経済の分断化について、ロシアのウクライナ侵攻、アメリカと中国の貿易をめぐる対立、日本の経済安全保障の動きを手がかりに理解する。 ○世界経済の分断化の影響やそれへの対応について、二つの着眼点を手がかりに多面的・多角的に考察し、議論する。
	47 貿易のしくみ			・自由貿易と保護貿易、自由貿易の推進、国際収支の意味などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・自由貿易と保護貿易、自由貿易の推進、国際収支の意味などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・自由貿易と保護貿易、自由貿易の推進、国際収支の意味などについて、主体的に追究している。	○自由貿易と保護貿易、自由貿易の推進、国際収支の意味などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○リカードの比較生産費説の概要、国際収支からわかる経済状況について、具体的な事例や統計をもとに理解する。
	48 国際金融のしくみと動向			・為替のしくみと外国為替市場、国際通貨体制の変容、国際金融の動向などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・為替のしくみと外国為替市場、国際通貨体制の変容、国際金融の動向などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・為替のしくみと外国為替市場、国際通貨体制の変容、国際金融の動向などについて、主体的に追究している。	○為替のしくみと外国為替市場、国際通貨体制の変容、国際金融の動向などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○為替レートの変動が貿易や金融、人々の生活におよぼす影響について考察する。
	49 グローバル化と今日の国際経済			・現在の国際経済秩序、地域統合の歴史と現在、新興国の台頭などについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・現在の国際経済秩序、地域統合の歴史と現在、新興国の台頭などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・現在の国際経済秩序、地域統合の歴史と現在、新興国の台頭などについて、主体的に追究している。	○現在の国際経済秩序、地域統合の歴史と現在、新興国の台頭などについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○国際経済秩序や地域統合の背景には、経済だけでなく政治的な要因もあることを理解する。

単元 番号	単元名	実施 月	単元 の時 数	評 価 規 準			学習のねらい
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
				(評価の方法) 定期テスト 小テスト レポート ワークシート	(評価の方法) 定期テスト（論述問題など） 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習のふり返り	(評価の方法) ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習のふり返り	
	50 国際経済 の諸課題			・南北問題とその背景、人口・食料問題、格差は正の取り組みなどについて理解している。 ・教科書の資料およびその他の資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・南北問題とその背景、人口・食料問題、格差は正の取り組みなどについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	・南北問題とその背景、人口・食料問題、格差は正の取り組みなどについて、主体的に追究している。	○南北問題とその背景、人口・食料問題、格差は正の取り組みなどについて、実際の事象と関連づけて理解する。 ○南北問題や人口・食料問題の解決に向けた取り組みについて考察し、議論する。
第3部	1 探究のイメージをつかもう 2 探究のプロセス	2月 ～ 3月	5	・課題解決に必要な事項を理解している。また、第1部・第2部で学習した知識と関連づけている。 ・必要な資料を収集・整理し、必要な事項を抽出しまとめている。	・課題解決に向けて必要な資料や情報を収集し、分析したり考察したり判断したりしている。 ・得られた結果や自らの主張を、論拠を明確にして説明したり表現したりしている。	・探究のための学習計画をふまえて、探究活動の進行を自らふり返り調整しながら、解決に向けて主体的に取り組んでいる。	○現代の諸課題について、探究のための課題を設定し、課題解決に向けて必要な情報を収集して分析したり考察したりする。 ○探究の結果や自らの主張を、論拠を明確にして説明したり表現したりする。
定期 テスト	1 学期中間 1 学期期末 2 学期中間 2 学期期末 3 学期期末	5月 7月 10月 12月 3月		・学習内容の重要事項、用語や概念などに関する客観テスト、資料を用いたテストなどの方法で、知識・技能の習得状況を把握する。	・学習した事項を用いて、事象の原因や背景、影響などについて説明できるかどうか、論述問題などの方法で、思考・判断・表現能力を把握する。		